

関数解析学 演習問題解答

木村泰紀*

2019 年 10 月 17 日出題

問題 1. H を内積空間とし, $x, y \in H$ とする. このとき, 任意の $\alpha \in \mathbb{R}$ に対して

$$\|\alpha x + (1 - \alpha)y\|^2 = \alpha\|x\|^2 + (1 - \alpha)\|y\|^2 - \alpha(1 - \alpha)\|x - y\|^2$$

が成り立つことを示せ.

解答 α は実数なので $\bar{\alpha} = \alpha$ であることに注意して,

$$\begin{aligned} & \alpha\|x\|^2 + (1 - \alpha)\|y\|^2 - \alpha(1 - \alpha)\|x - y\|^2 \\ &= \alpha\|x\|^2 + (1 - \alpha)\|y\|^2 - \alpha(1 - \alpha)(\|x\|^2 - 2\operatorname{Re}\langle x, y \rangle + \|y\|^2) \\ &= (\alpha - \alpha(1 - \alpha))\|x\|^2 + ((1 - \alpha) - \alpha(1 - \alpha))\|y\|^2 + 2\alpha(1 - \alpha)\operatorname{Re}\langle x, y \rangle \\ &= \alpha^2\|x\|^2 + (1 - \alpha)^2\|y\|^2 + 2\alpha(1 - \alpha)\operatorname{Re}\langle x, y \rangle \\ &= \|\alpha x\|^2 + \|(1 - \alpha)y\|^2 + 2\operatorname{Re}\langle \alpha x, (1 - \alpha)y \rangle \\ &= \|\alpha x + (1 - \alpha)y\|^2. \end{aligned}$$

よって示された.

問題 2. M をヒルベルト空間 H の空でない閉凸部分集合とし, $x \in H$ とする. $u, v \in M$ がそれぞれ

$$\|x - u\| = \|x - v\| = d(x, M)$$

をみたすとき, $u = v$ であることを示せ. ただし, $d(x, M) = \inf_{y \in M} \|x - y\|$ である.

解答 $d = d(x, M)$ とし, $u, v \in M$ が $\|x - u\| = \|x - v\| = d$ をみたすと仮定する. このとき, 平行四辺形公式より

$$\begin{aligned} \|u - v\|^2 &= \|(x - v) - (x - u)\|^2 \\ &= 2\|x - v\|^2 + 2\|x - u\|^2 - \|2x - (v + u)\|^2 \\ &= 2d^2 + 2d^2 - 4\left\|x - \left(\frac{1}{2}v + \frac{1}{2}u\right)\right\|^2 \\ &= 4d^2 - 4\left\|x - \left(\frac{1}{2}v + \frac{1}{2}u\right)\right\|^2. \end{aligned}$$

ここで, M は凸なので

$$\frac{1}{2}v + \frac{1}{2}u \in M.$$

* 東邦大学理学部情報科学科. <https://www.lab2.toho-u.ac.jp/sci/is/kimura/yasunori/>

よって

$$\|u - v\|^2 = 2d^2 + 2d^2 - 4 \left\| x - \left(\frac{1}{2}v + \frac{1}{2}u \right) \right\|^2 \leq 2d^2 + 2d^2 - 4d^2 = 0.$$

したがって, $u = v$ が示された.

問題 3. M をヒルベルト空間 H の空でない閉凸集合とし, $x \in H, p \in M$ とする. このとき, 次は同値であることを示せ.

(i) $\|x - p\| = d(x, M)$;

(ii) 任意の $y \in M$ に対して $\operatorname{Re}\langle x - p, p - y \rangle \geq 0$.

解答 (i) \Rightarrow (ii) $y \in M$ を任意に一つ固定すると, M が凸であることから, 任意の $0 < \alpha < 1$ に対して $\alpha y + (1 - \alpha)p \in M$. ここで, $d(x, M)$ の定義より $d(x, M) \leq \|x - (\alpha y + (1 - \alpha)p)\|$. よって

$$\begin{aligned} \|x - p\|^2 &\leq \|x - (\alpha y + (1 - \alpha)p)\|^2 \\ &= \|x - p + \alpha(p - y)\|^2 \\ &= \|x - p\|^2 + 2\alpha \operatorname{Re}\langle x - p, p - y \rangle + \alpha^2 \|p - y\|^2. \end{aligned}$$

整理して

$$2\alpha \operatorname{Re}\langle x - p, p - y \rangle \geq -\alpha^2 \|p - y\|^2$$

を得る. ここで, $\alpha > 0$ より, 両辺 2α で割ると

$$\operatorname{Re}\langle x - p, p - y \rangle \geq -\frac{\alpha}{2} \|p - y\|^2.$$

$0 < \alpha < 1$ は任意なので, $\alpha \rightarrow 0$ として $\operatorname{Re}\langle x - p, p - y \rangle \geq 0$ を得る.

((ii) \Rightarrow (i)) $x = p$ のときは明らかなので, $x \neq p$ のときを示す. 任意の $y \in M$ に対して $\operatorname{Re}\langle x - p, p - y \rangle \geq 0$ であるとする,

$$\begin{aligned} 0 &\leq \operatorname{Re}\langle x - p, p - y \rangle \\ &= \operatorname{Re}\langle x - p, p - x + x - y \rangle \\ &= -\|x - p\|^2 + \operatorname{Re}\langle x - p, x - y \rangle \\ &\leq -\|x - p\|^2 + |\langle x - p, x - y \rangle| \\ &\leq -\|x - p\|^2 + \|x - p\| \|x - y\| \end{aligned}$$

が得られる. よって, $\|x - p\| > 0$ より

$$\|x - p\| \leq \|x - y\|$$

となり, $\|x - p\| = \inf_{y \in M} \|x - y\| = d(x, M)$ が示された.